



大学共同利用機関法人

人間文化研究機構



一般社団法人

大学出版部協会

平成29年3月7日

報道各社の皆様へ

メディア懇談会
開催の御案内

「学術書は世界を救う」

—人文学の評価と人文知の再構築のために—
(第5回 人間文化研究機構メディア懇談会)

主催：人間文化研究機構、大学出版部協会

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構と一般社団法人 大学出版部協会は
共同でメディア懇談会を開催いたします

日時：平成29年3月28日（火）14:00～16:45

会場：京都大学東京オフィス 会議室B

東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階

JR、東京メトロ丸ノ内線「東京駅」直結（丸の内北口改札出ですぐ）

プログラム：

14:00 開会挨拶 佐藤洋一郎（人間文化研究機構 総合情報発信センター長）

14:05 話題提供（1人20分）

立本成文（人間文化研究機構 機構長）

『人文知の評価』

小泉 周（自然科学研究機構 研究力強化推進本部 特任教授）

『基礎研究と社会的インパクト —基礎研究力とは何か?—』

鈴木哲也（京都大学学術出版会 専務理事・編集長）

『実践の人文知へ——<本>から考える，その視点と方法』

橋元博樹（東京大学出版会 営業局長）

『“出版不況”時代の学術出版——流通の視点から』

15:25 意見交換

16:45 閉会

※プログラムは予定であり、変更する場合があります。

*お申込み

参加ご希望の場合には、平成29年3月24日（金）までに、別紙の参加申し込み用紙に必要事項を御記入いただき、Fax（03-6402-9240）またはEメール（cip-office@nihu.jp）にて人文機構総合情報発信センターまでお申し込みくださるようお願い申し上げます。

また、今回ご参加いただけない場合も、御連絡をいただけましたら、当日配布資料や今後の御案内なども送らせていただきます。

*開催趣旨

大学等研究機関は、学界や一般社会への情報発信や貢献、研究活動の成果向上および人材育成、業務運営の効率化と適正な資源配分などの観点から、自他の評価を求められています。

とりわけ今日主流となっている研究の評価方法は、限られた同業専門家の間でのみ流通する学術雑誌によるサーキュレーションを計量の基礎に置いた、理系を中心とした評価となっていますが、広く社会の知性を涵養する人文学に適用することは妥当ではありません。人文学の評価には、広く社会に問う成果の発信こそ肝要であり、そのためには、論文、学術書のほか、多様な一般書籍やメディアへの出演、公開講演会、インターネットや SNS、社会的貢献を積極的に評価する基準の確立が必要です。

また書籍は、異なる専門領域を、あるいは研究と社会を繋ぐ重要なメディアですが、近年の書籍業界の急速な変容の中で、人文知を社会に浸透させる役割を十分に果たせていません。隘路に陥った現代社会を救うため、世界の知の在り方に学術書が影響力を持たなくてはなりません。

本懇談会では、人文学と学術書という視覚から研究者とメディアから話題を提供し、双方一体になった問題解決の方向性を探ります。

【問合せ先】

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合情報発信センター 研究員 菊池 百里子
E-mail: cip-office@nihu.jp
電話：03-6402-9342、03-6402-9234

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

www.nihu.jp

人間文化研究機構（人文機構）は、国立歴史民俗博物館、国文学研究資料館、国立国語研究所、国際日本文化研究センター、総合地球環境学研究所、国立民族学博物館の6つの大学共同利用機関によって構成されています。人間文化研究に関する日本の研究拠点として、新たな学問領域の創成、世界をリードできる研究拠点としての組織づくり、大学の支援と教員の流動性の促進、そして人文学や人間文化研究の重要性や研究成果の可視化、社会還元を強力に推進しています。

人文機構の活動情報は、人文機構ニューズレター（メール）やNIHU Magazine (Web マガジン)で配信しています。ニューズレターの登録はこちらから www.mag2.com/m/0001674003.html

一般社団法人 大学出版部協会

www.ajup-net.com

大学出版部協会は1963年6月、「大学出版部の健全な発達と、その使命の達成をはかり、もって学術文化の向上と、社会の進展に寄与する」ことを目的として設立されました。研究成果の発表としての学術書の刊行、効果的な教育を援けるすぐれた教科書の刊行、および大学における研究成果の社会への普及をはかる啓蒙書・教養書の刊行、これらが大学出版部に課せられた基本的な任務であると考えています。大学出版部協会は、そうした出版物などを通じて、学術情報の発信という大学の不可欠な機能を担い、「大学と社会を結ぶ知のネットワーク」をますます強固なものとすることを目指して活動しています。

第5回 メディア懇談会 申し込み用紙

メディア懇談会に

参加します ・ 参加できないが資料がほしい

お名前：

御社名：

御所属：

E-mail：

*資料の送付を御希望の場合のみ

資料の送付先：

〒

今後、人文機構からの御案内をお送りしていいですか？

希望します ・ 希望しません